

夕刊 常磐新報

五日十月五日廿五日廿日
定額 一月 五元
半年 二十五元
一年 五十元
廣告料 一頁 十元
二頁 二十元
三頁 三十元
四頁 四十元
五頁 五十元
六頁 六十元
七頁 七十元
八頁 八十元
九頁 九十元
十頁 一百元
發行所 常磐新聞社
福島縣平町南五九

町村會改選期を前にして

由來 町村會議員の顔するものなる、故に町村會議を見るに家柄と云ふ事を改選期を目前に控へ一言第一條件に敷ひられ、即ちせんに推薦者も徒らに金持名門なるが故に議員たり其らたり思入たるものを御世子孫の爲めに美田を買ふ意辭に恩返しなど、思惟し無味で交祖が必ず議員を買取たり推挙すべきものであつたものである亦社會も前々不快と思はずして智考慮し將來に却て恩人が無方面人物本位と云ふ事は甚だ閉却されて居つたものである成程議員は町村の決議権を有し名譽職であるに議員其ものは尊敬する價値があるであらう。但し尠くも當時の先覺者であり代表的人物なるが故に、是れはならぬ、然るに在來は議員たることは幕後換りに考へる不所存者が澤山ある死後縣下でも有数な大平町の町(但し確定的ではない)先づもあの墓標は町村の先覺者會議の改選もあと七十餘長橋町から企業常務毎日新聞であり名譽職をやつた人だの後に追つて来た

平町々會改選に出馬する噂の人々

開の川崎文治氏、出馬する本人として、全氏が後進の道と一然し一律的に賞揚は定員三十名に對し約四十名か或は徳望家の小野圓次郎といふ事、全氏が後進の道出来ないのである、名の立候補を見るであらう、亦た永年行政區長なを開くとせば、鹽屋の大番寧ろ議員たるが故に反て自、現在の町議諸君で再出馬をした、植頭鶴松氏の内頭たる木澤常松氏が志村來ら無能低級を公衆の前に馬する人々を是れを断念するである、店主で彈丸の豊富なる、在座多へ實情を如何にせん果しすものであらうが各方面より氏が再出馬は、欺ふ余地は、元平銀行の支配人たりし四年の永ひ間一意専心通信事務に携り局長代理として生、あの落着放膽の鈴木局長の爲すべき人だ、かねては小ものが無能さを永久に標的政治家の自惚家を列記せば定評のある大鶴やの主人の三人の内より選出するで

代選れた、すくなくも自己に充分の議員として働きたいの信念と居町村の百年の大計上乃公出でずんばの自負心あるものでなくてはならぬ、又現代人は如斯き強力の候補者を訓理的に待望して無能者は遠慮して將來に悪しき意味の墓標を作らざる事に注意し新進有爲の人物を自信ある新人を推すべきである、そうしてこそ圓滿なる自治体の運行に光りを見出す事が出来るのである、吾々町村民の祈り幸福も掴み得るのである、

あらうが、閑地にある端山義政氏、門傳清吾氏等も出馬するとの噂であるから、英雄剛毅の姿で相當の混戦を演ずるであらう、田町から民政黨の總大將野崎滿藏氏が再出馬するは、出馬の餘儀なくさるゝ、では、ないかとの噂である、三好家の鈴木重助氏も老体に一鞭を打って遂鹿戰場に出馬すると、藤田榮助氏も野望なきに非ずと噂されて居るが、果して起立するか否かである、齋藤實氏は現町議中에서도野望なきに非ずとの噂である、四丁目には猪狩庄平氏再起、徳二氏、齋藤玄三郎氏等の噂もあるが、結局は消小頭で活躍して居る鈴木長三郎氏が出馬する事となる、五丁目には井上茂作氏は勿論、馬目武之助氏は再出馬する事である、大工町から青年團長た多田井次郎氏が出馬するとの噂もある、二面へ續く

社告

右從來本社客員として執筆致居候處今正式に本社記者として入社候間宜敷御引立の程願上候
追而先々號社告は精査誤りの點有之消滅候間宜敷改て社告仕候也
刊常磐新聞社

常磐春秋

佐川榮次郎君 (32)
小名濱郵便局の主任として、鳴かず飛ばす殆ど世間とは没交渉にて過期三十有餘年の永ひ間一意専心通信事務に携り局長代理として生、あの落着放膽の鈴木局長の爲すべき人だ、かねては小名濱振興同志會をつくり夫

薄井素行

右從來本社客員として執筆致居候處今正式に本社記者として入社候間宜敷御引立の程願上候
追而先々號社告は精査誤りの點有之消滅候間宜敷改て社告仕候也
刊常磐新聞社

一面より
は決定されたとの噂
鐵道以北は現町議佐々木龍
若氏は勿論再起掘江正茂氏
が新出馬との事である此の
外に日本生産黨磐城支部を
一人で荷ひて居る例の渡邊
甚内君が出馬 亦た水野壽
氏が民政黨を背景に出馬す
ると
鐵道關係では 有名な中澤
助役閣下現職儘で例の御大
萩原君を背景として出馬の
準備を進めて居るとの噂
白銀町は高橋龜松氏と櫻
井清氏の兩君が再出馬であ
る 佐藤清六君も名乗ると
事だが 判然とはしない
新川町は武田元之助氏は
再起不能で 諸橋正吉氏と
松崎長太郎氏の兩君が風間
孝榮氏の呼聲も高し月見町
は根本昇藏氏が再起は勿論
である
南町は大森勇氏 岡田政次
郎氏 小松茂氏 齋藤街洞
君等あり可なり混乱の巷
と化すであらう
鐵道町がら國府田直良君
再起せずんば吉田伴吉君が
是れに替るものと觀られて
る
萩原義雄君は南町と鐵道町
の聯合軍で支持するとの事
であるが比佐代議士の懐刀
であり大人氣の名政治家だ
から樂なものとの評判であ
る自己一黨の爲めに多量な
珍品を撒布し得る決断力あ
るか否かである
大町方面の新開地から吉田
五平氏が再出馬の準備に余

念がないとの噂である
材木町では栗城千代藏君が
勇敢に出馬するとの噂
八幡小路より鍋田三重君が
舊年藩士を背景に必を期
して出馬するとの噂である
何れ變化し行く政戦の情報
反に筆を採る事にしよう
一般口腔外科
佐藤醫院
小名濱町中島
折詰引物は
特に御相談下さい
電話七十五番
菓子舖
小名濱駅前
新しい美味の御菓子は
和洋菓子店の
新らしい美味の御菓子は
和洋菓子店の
新松屋
小名濱町中島
電話七十五番
美術寫眞
晝夜撮影
鈴木寫眞館
小名濱町中島通り
藥品・高名賣藥
化粧品・小問物類
寶屋商店
小名濱町米野
電話三九番
は行流の春
三井呉服店
りよ
八三話電・三平

清世界 醸造元
清水正宗
清**水屋本店**
小名濱町中島 電話六番
◇每週水曜日午後出診◇
外科専門
醫學博士 渡部義夫
内科 小兒科 花柳病科
佐瀨醫院
小名濱町中島
電話百三拾番
(元吉田屋本館跡)

冷凍部。鐵油部。
營業
魚市場。製造部。
磐城水産工業株式會社
社長 小野晋平
支配人 福尾伊太郎
小名濱町 百十番
電話六六番
外科専門
レントゲン科
上田科外醫院
平町南町
電話二九番
◇病室の設備入院應需◇
濱通り第一の靈鏡泉
七濱近郊第一の保養地
神経系統諸病
皮膚病胃腸病
リウマチス
婦人病、痔疾
諸病に特效有
◆入浴料一日僅か二十銭◆
小名濱郊外大原
内科、産婦人科
小兒科、花柳病科
久保田醫院
小名濱町 電話三三番
内外科耳鼻咽喉科
宮津醫院
小名濱町西町
電話百四十二番

内科・外科
花柳病科・小兒科
レントゲン科開設
小名濱町
電話十八番
良品廉賣に勝る商略なし
【磐城セメント】特約代理店
金物問屋 **釜屋商店**
磐城平町五丁目
電話九番 九九番
東京振替貯金口座一〇六五九
呉服太物類
安心して買へる店へ
樋口呉服店
小名濱町中島通り
小名濱町中島
佐藤時計店
小名濱町中島
小名濱ホテル
御料理
御旅館
藝妓置屋
吉田屋別館
電話十四番
海岸に面し眺望絶佳
綿糸漁網
マニラロープ
ペンキハツキン
其他船具、漁具
喜久屋船具店
小名濱古港
電話一六番